

(様式第1号)

自己評価票

(個別表)

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域の中で笑顔を持って暮らしていきたい」を理念に掲げ努力している。		
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を共有し、実践に向けて日々取り組んでいる。		
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	運営推進会議や広報、お手紙などで、「地域の中で生きていく」という理念を説明して理解してもらえるよう取り組んでいる。		
理念と共有 3項目中 3項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所の人々との挨拶などは徹底し、グループホームを知っていただくための回覧、グループホーム開催の夏祭りなどを実施、日常的なつきあいをしてもらえる様努力している。		
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	孤立する事なく地域行事へは積極的に参加し、グループホーム主催の夏祭りも実施して交流を深める努力をしている。	○	グループホーム内(多目的ホール)にて地域の方が利用できる様なシステムを作りたい
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域のびわこ清掃への参加、地域ケア会議へ出席して情報交換をしている。		
地域とのつきあい 3項目中 3項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価、自己評価の必要性を伝達し、又、評価を活かして改善に取り組んでいる。		
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度実施し、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告している。又、委員の方々からの情報提供や意見交換を行い、サービス向上に活かしている。	○	火事、地震、離設などの事故対策、または地域行事参加へのネットワーク作りをしていきたい(御家族、利用者より、個人情報開示の同意書をいただく)
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域ケア会議の出席し、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修等に参加し、伝達していく様に努めている		
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止、身体拘束についてのミーティングを行い、又、資料を回覧するなど防止に努めている。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 5項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時又は、契約前においても利用者のアセスメントを行い、不安疑問点を理解して十分な説明を行い、理解、納得をはかり入居後に活かしている。		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者が意見、不満、苦情を常に職員に表せる様な関係作りをもうけている 苦情に対する窓口もあり、重要事項説明書にも記載、迅速に対応している		
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時、電話、月に一度のお手紙、年2回の「坂本だより」にて報告している。金銭管理については月一回出納帳の写しと領収書原本をお渡ししている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見、不満、苦情については随時受け入れており、外部者へも報告している。又、改善に向けての指導もしている。		
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の全体ミーティングや連絡帳、又は必要に応じて個人面接を行い、意見や提案を聞き、反映する様努めている。議事録は全員が閲覧できるようにしている。	○	職員全員がミーティングに参加することが難しい(勤務上、利用者見守り)出来るだけ多くの職員が出席できる様努めたい(出席できない職員には書面にて提出してもらっている)
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	シフト表を作成し、作成にあたっては利用者や家族の状況を考え、職員間とも話し合い、勤務調整をしている。		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動については本人とよく話し合い、離職希望についてはまず、管理者が面接を行い上司へ報告、上司からの面接を行う。代わる場合は、家族、利用者へのダメージを最大限に防げるよう事前の報告、申し送りを徹底している。		
理念を実践するための体制 7項目中 7項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	一年間の研修計画があり、法人内外への研修を受けられる様努めている。研修内容は必要に応じて職員全員に伝達している。	○	常勤だけではなく、非常勤をもっと参加していける様にしていきたい
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域ケア会議、グループホーム協議会、その他の研修において同業者との交流をするよう努めている。又、情報交換などから、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ストレスを相談する窓口があり、常勤、非常勤を問わず相談することができる。		
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	ISOの力量評価や必要に応じた能力評価を行い、努力や実績などを把握している。各自が向上心を持てるように個人面接を行っている。		
人材の育成と支援 4項目中 4項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
Ⅱ-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時から利用に至るまで、利用者、家族、相談員、職員を交え、十分なアセスメントを行い、本人の求めている事を理解し受けとめ、入居後に反映できる様にしている。		
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時から利用に至るまで、利用者、家族、相談員、職員を交え、十分なアセスメントを行い、本人の求めている事を理解し受けとめ、入居後に反映できる様にしている。		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けたときには、本人と家族が必要としている支援を見極め、一番良い方法を助言し対応している。		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	相談時に十分なアセスメントを行い、サービス利用の暫定プランとして、1週間前に立案、その後、一ヶ月、三ヶ月と立案して徐々に取り決めるようにしている。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4項目					
Ⅱ-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	グループホームの主とする「リビングケア」を重要視し、365日一緒に過ごし、本人の気持ちを理解し共有できる様な関係を築いている。		
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	支援される家族の立場と本人の両方を支えていけるよう、家族との情報共有、本人のその人らしい生き方や喜怒哀楽を支えていけるよう努めている。		
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	これまでの本人と家族との良い関係を維持し、より良い関係が築いていける様に常に情報交換と話し合いをしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	利用者が大切にしてきた馴染みの人や場所 を知り、関係が途切れないように支援してい る。行ってみたい所、行きたい所、会いたい人 などを理解し実現できる様に努めている。		
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	一人ひとりの性格や暮らしてきた環境を十分 に理解し、孤立しない様利用者同士の関わり の支援、又、職員を交えて通じ合えるように努 めている。		
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用終了後も必要とする利用者や家 族には気軽にグループホームへ足を運んでい ただけるよう努めている。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 6項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者、家族の希望、意向を尊重 アセスメントを行い一人ひとりの思いや意向を把握する様に努め日常生活やケアプランにも活かしている。困難な場合は色々な情報の中から本人本位に検討している。		
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前、入居後のアセスメントや利用者、家族の声を聞きケアプランに取り入れ、馴染みの暮らしが継続的にできるよう努めている。		
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの1日の過ごし方、変化、心身状態、有する能力など総合的に把握する様努めている(介護日誌、連絡ノート、管理日誌、申し込み、医療チームとの連携、カンファレンス)		
一人ひとりの把握 3項目中 3項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族、必要な関係者(主治医、訪看、職員)などから情報を得、又話し合い、アセスメントと照らしながらケアプランを作成し、実践、定期的な見直しをしている。		
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居前、入居後のケアプラン作成、定期的な見直し(3ヶ月に1度)を行っている 必要に応じて(状態変化)区分変更を行った時は現状に即した新たなケアプランを作成している。		
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者一人ひとりの記録を実践、職員にて共有している 記録や気づきなど見直しにも活かしている。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 3項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族におけるその時々々の状況要望に付き合い継続的に支える支援をしている(医療チームとの連携、看取り、早期退院に向けての支援、外出困難な利用者の介護タクシー利用、利用者本人との継続的な話し合い)		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティア受け入れ、地域への高齢者名簿への情報提供、災害時における警察、消防との連携などを行い協働している。		
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人、家族の必要性や意向に応じて他のサービスの相談員、サービス事業者と話し合い情報提供をしている(特別養護老人ホーム、軽費老人ホームなどへの情報提供書作成)		
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	2ヶ月に一度運営推進会議に地域包括センター職員が出席し、協働している		
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回、1階坂本医院(主治医)を定期受診し健康状態を常に相談できる関係を築いている本人、家族の希望、意向を確認しながら適切な医療を受けられるよう支援している。		
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	年1回音羽病院へ認知症外来を受診し、必要に応じて相談できる連携病院がある。		
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携している訪問看護ステーション(1階)から週に1度訪問があり相談・報告している。日常の健康管理はもちろん、医療活用の支援にも続けている。		
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院した場合には安心して過せるように情報提供(介護サマリー)をしている 又、出来るだけ早期に退院できるように、病院関係者、家族、本人、と話し合いを行っている(入院中の経過情報交換、カンファレンス開催)		
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化、終末期については契約時に「看取り指針に基づき、本人、家族、訪看、職員と共に共有できる準備がある。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化、終末期の利用者が「その人らしく良く暮らせるために、本人、家族、医療チーム、職員と連携をとり支援する準備がある(現在まで重度化、終末期の利用者はなし)		
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人が別の居所へ移り住む際はグループホームでの生活全般、医療情報、認知症による周辺症状など多岐にわたる情報を提供し、又別の居所の情報も得て住み替えによるダメージを防止している。		
地域資源との協働 10項目中 10項目					


自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	一人ひとりの尊敬、プライバシーに関して職員間で徹底して「誇り」を失わない介護を実践している。個人・情報の取扱いは厳守し、必要な場合は本人、家族に同意書をいただいている。		
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	一人ひとりの思いや希望を自由に表現できる様な職員との関係、環境作りに心掛け、自己決定ができるような支援をしている。		
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	外出・食事・入浴など日常生活においても本人のペースや自己決定を優先しその人のペースで過せるよう支援している。		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 3項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	その方にあった身だしなみ、おしゃれを支援し必要な方はケアプランにも取り入れている。理美容は本人の希望する店へ外出も兼ねていつでも行ける外出の難しい利用者は訪問理美容に来てもらっている。		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューを作らず利用者と共に考え、準備、片付け、食事も全て職員としている。本人の能力に沿った参加を促している(座ってできること、得意な事)		
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人の嗜好に沿い、日常的に楽しめるようにしている(お酒、好きな飲み物や食べ物)		
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの排泄パターンや失敗などをチェック表に記録し、おむつの使用を減らすよう努めている。下痢、便秘などの場合も主治医との連携も行っている。		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯を決めず一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるようにしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣や入眠ペースを知り(記録し)安心して入眠、休息できるようにしている(不快な音、光を除く、居室の温度、本人の体調、入眠前の飲み物の提供)		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 6項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を理解し、楽しみ事や趣味、気晴らしなど張り合いや喜びにおある日々を過ごせるよう支援している(植物の世話、手芸、洋裁、食事作り、外出、必要に応じてケアプランにも立案)		
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりの財布を準備し、外出時など自由に使用できるようにしている。本人の希望により財布を居室に自己管理できるようにしている。		
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買物、散歩、ドライブ、地域行事、理美容など利用者の希望に沿った外出をしている。又、必要に応じてケアプランにも取り入れている。		
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	行事などの団体外出だけでなく、利用者の希望に沿ったマンツーマンもしくは家族を交えて外出している。		
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	一人ひとりのニーズ、力量に応じて家族等への手紙、電話ができるようにしている。		
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	行事だけでなく、日常的に手軽に訪問できるように支援している(日中施錠をしない 茶菓食事の提供 家族と本人が孤立しないように職員がフォローする)		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての研修資料を職員全員へ配布、ミーティングを行っている。レポート提出により議事録も作成し理解、実践している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中施錠もせず利用者、家族に心理的圧迫がないようにしている。又、施錠する場合の根拠を利用者、家族に説明する準備がある。居室に関しては本人の意志により施錠してもらえる方もいる。		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員間での連携を密にし、常に見守りやすい場所に職員がいる。		
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	安全面を配慮し、保管場所や管理、見守りを徹底している。趣味(手芸、裁縫)に使用する為居室で自己管理されている利用者について安全の使用できる状態か確認している(ハサミ・カッター・ナイフ・針)		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止に関するマニュアルがあり、又、研修にも参加している。研修資料は全員に配布して共有、事故防止に努めている。重大事故に繋がらないようヒヤリハット報告書を積極的に作成し職員全員回覧し、意識向上に努めている。		
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	普通救命講習を全員が修了しており、2年毎に再講習を受けるようにしている。		
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	1年に1回の大津市消防局による防災訓練 2ヶ月に1回のグループホーム主催の防災訓練をしている。運営推進会議において地域の方より情報を得て災害時の避難場所、防災組織を教えていただく。		
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	面会時、電話、毎月のお手紙の中で一人ひとりの生活状態、健康状態、変化を知っていたり、必要があればリスクと対象を話し合っている。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 8項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	管理日誌、介護日誌、連絡ノートに記入して情報を共有。口頭でも報告、相談して速やかな対応に結び付けている(主治医・訪看への連絡して指示を受ける。又は受診)		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員に一人ひとりの既往歴、使用している薬の目的を提供している。状態の変化を主治医に速やかに報告し、指示を受けている。		
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の原因や及ぼす影響を理解し、排泄チェック表や本人の体調に留意している。必要に応じた主治医からの指示、訪看の指示、水分を多く摂れるよう必要に応じて水分チェック表の作成している。		
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	週に1度歯科往診にて口腔内チェックとケアをしている。毎食後、利用者に応じた口腔ケアの実施、支援をしている。		
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人チェック表により、食事量の管理をしている。検査表により栄養バランスを考え、利用者と共に食事作りを行う。水分摂取が不十分な方にはケアプランに入れ積極的に摂取を促し、水分チェック表を作成している。		
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に関するマニュアルがあり、又、実行している(流水手洗い、手洗い方法、消毒、汚物の取り扱い方法)		
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	手洗い、消毒を徹底し、調理用具等の衛生管理を行っている。食材は週3回の針慮により新鮮なものを揃えている。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前に草花を植え、判り易いようにグループホームの看板を大きく掲げている。		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間には季節の花、絵画、手作り作品などを飾り、季節や外気を感じられるように換気、光を取り入れている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	多目的ホール、リビング、廊下にはいくつもの椅子を置き、独りになったり友人と過せるような居場所を作っている。		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は入居前、入居後問わず本人や家族と相談しながら馴染みの物や好みの物を取り入れ、本人が使い易く居心地よく過せるように工夫している。		
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがなく換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	気になるにおいや空気おなくなるよう換気に努め、空気入れ替え、防臭剤などを使用している。温度調整は各居室、共用空間に温度計を設置し、体感温度、利用者体調を観察しながら調整している。	○	空気のおよみがなくなる様に今以上に努めたい。
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 5項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、浴室、廊下に手すりを設置して安全に利用できるようにしている。居室内については玄関前に棚を置き、安全に居室内へ入れるように工夫し、転倒防止に努めている。		
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりのわかる力を理解して、混乱や失敗を妨げるよう職員、家族で情報を共有して、自立して暮らせるように工夫している。		
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関前に草花を置き、利用者が水やりや植え替えなどをできるようにしている。		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 3項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者一人ひとりには生活歴、趣味など多種多様であり、自宅でないグループホームで過す事で配慮したり、ストレスを感じたりする事も多いと思います。ストレスを回避するためにも、本人、家族からの声を尊重し、介護計画の中に多く取り入れるようにしています。

評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
I 理念に基づく運営	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	3 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	3 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	5 項目/5項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7 項目/7項目
－5. <input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	4 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	
IV－1. その人らしい暮らしの支援	
－1. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
－1. (2) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (3) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (4) <input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	8 項目/8項目
－1. (5) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	
－2. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5 項目/5項目
－2. (2) <input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3 項目/3項目

総合評価	
<p>I 理念に基づく運営 (<input checked="" type="checkbox"/> 5項目/5項目)について</p>	<p>地域密着型サービスになる以前からも地域交流は重要課題ですが、グループホームから地域へ発信していく事により少しずつ地域に根ざした生活ができてきている。 包括センター地域役員の方御家族の協力を積極的にしていただき、これからも理念を活かしていける様にしていきたい。</p>
<p>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 2項目/2項目)について</p>	<p>本人、御家族本位のサービス利用や不安な時にいつでも相談できるような信頼関係はできていると思う。又、月1回のお手紙、年2回のおたより、電話、面会などで利用者の生活情報は全て報告して助言もしていただいている。</p>
<p>III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (<input checked="" type="checkbox"/> 4項目/4項目)について</p>	<p>自己表現の難しくなった方のケアマネジメントは難しい事もあるが、家族からのアセスメントや利用者の日常生活の中から本人本位のケアプランが出来るように努め、実践している。日々の記録や気づきの中にも重要な事があり、職員が見のがす事なくケアプランに取り入れていきたい。又、医療チームとの連携も大切であり坂本ではグループホームではめずらしく1階に主治医がいる事で日々の健康管理も徹底してできており、利用者、家族にとって安心の場となっている。</p>
<p>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 7項目/7項目)について</p>	<p>それぞれの能力や認知症による周辺症状もあるが、その方が今まで生きてきた馴染みの生活やできる事できなくなった事、職員と一緒に出来る事を理解し、生活の中に取り入れている。 少人数ではあるものの共同生活というストレスもあり、グループホームのペースではなく、本人本位のペースで「生活を楽しむ」支援をしていきたい。</p>
<p>V サービスの成果に関する項目について</p>	<p>利用者、家族、職員との関係作りはできていると思うが、ADL低下による戸外外出の回数が減っている。 地域の方との交流はこれからの課題でもあり少しずつ取り組んでいきたい。</p>

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日：19年 8月 4日

前回評価年月日： 年 月 日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目番号	優先順位	内容				
5 8 71	1	地域の方にグループホームを知っていただき、地元の人々との交流を増やしたい。 災害時や地域行事参加の為にネットワークを作りをしたい	H19.8月～	グループホーム主催の「夏祭り」を開催(8/9予定) 本人、家族より「同意書」をいただき、地域高齢者名簿に載せてもらう		
16 19	2	常勤だけでなく非常勤の方にも多く研修に参加していく。 ミーティングやカンファレンスにもできるだけ多く参加して提案や意見を生の声をきいていきたい。	H19.8月～	研修の機会を増やしていく。8月下旬、9月上旬に研修参加予定。 シフトなど考慮し、非常勤全員参加のミーティングを予定。		
84	3	生ゴミが建物外に置けず臭いが気になる。	H19.8月～	汚物を1つずつビニール袋に包み処分。 防臭剤使用。空気の入れ替え。		